

抗酸菌に関する臨床微生物学的研究の研究基盤構築

Version 2.0 20221115

当院では、結核および非結核性抗酸菌症と診断・治療された患者さんの臨床情報と菌の情報の保管し、臨床研究への活用を進めて参ります。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

課題名：抗酸菌に関する臨床微生物学的研究の研究基盤構築

背景：感染症の病態を理解するためには、宿主（感染を受ける人）の状況と感染を起こす病原微生物の両者を理解することが重要です。当院では、抗酸菌症の患者さんを対象に、臨床情報および診療後に不要となった菌株を保管させて頂き、抗酸菌症の患者さんを対象とした観察研究を進めて参ります。

抗酸菌は結核と非結核性抗酸菌の総称です。結核は空気感染により感染が伝播する疾患で、世界においても日本においても、公衆衛生上重要な疾患です。また非結核性抗酸菌症は、近年罹患率・有病率の上昇傾向が見られており、見過ごせない疾患となっています。

目的：抗酸菌の臨床研究を行うため、臨床情報と菌株情報を研究用に保管します。臨床研究を通して抗酸菌症の診療や公衆衛生の向上等に貢献することを最終的に目指します。

方法：当院において結核および非結核性抗酸菌症と診断・治療された患者さんの背景や治療経過等の臨床情報と菌株を保管し、医学研究に利用いたします。菌株および臨床情報は、個人を特定できない形で、解析のために外部施設に提供されることがあります。情報は、個人を特定できない形で、解析のために外部施設に提供されることがあります。

対象となる方：結核および非結核性抗酸菌症の診断基準を満たした方
対象となるデータの期間：1999年1月～2029年12月
研究（予定）期間：理事長承認日～2030年12月

倫理的事項：本研究は当院の倫理委員会で承認を受けた観察研究です。研究によって診療内容が変わることはなく、皆様が医学的不利益を被ることはありません。個人を特定できる形で情報が解析されることはありません。当院で結核および非結核性抗酸菌症と診断された方で、研究の対象となることを希望されない場合には、下記の問い合わせ先へお伝え頂ければ、研究の対象外となることも可能です。対象外となることによる不利益はありません。また、研究に関する資料を個人情報や研究に差し支えない範囲で閲覧することも可能です。

研究へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究代表者：杉山温人

問い合わせ先：国立国際医療研究センター呼吸器内科

森野英里子、高崎仁

TEL：03-3202-7181（代）、FAX：03-3207-1038